

山大聖火リレー

山形大学で学んだこと、過ごした日々、
それらはやがてさまざまな成果となって、社会に燦々と火を灯す。
現役山大学生やOBたちが各方面で活躍する姿を追った。



1 銀座にあるYCC情報システム東京支社で仕事に励む吉田さん。現在、東京支社の社員は約50名。そのトップとして本社との連携を密にビジネス展開している。



2 YCC情報システム本社開発室の様子。地元や首都圏のお客様のシステム開発を行っている。豊富な経験と確かな開発力で多様化する顧客ニーズに応えていく。



3 研究開発に関するミーティング風景。自由な発想でアイデアを出し合い、さまざまな角度から意見交換を行い、より魅力的な商品づくりに取り組んでいる。

IT分野で暮らしを支え、ビジネスをサポート。 非常勤講師として後輩の育成にも尽力。

吉田浩昭 株式会社YCC情報システム 常務取締役

中学時代にあこがれの先生に出会ったことがきっかけで自らも中学校の先生を目指して教育学部(現・地域教育文化学部)の中学校課程に入学した吉田浩昭さん。専門は技術で、そこでコンピューターについて学んだ事が結果的に現在の仕事に結びつきました。学生時代の思い出といえば、バイト、遊び、勉強。親にあまり負担をかけたくないとの思いから、家庭教師や飲食店等実にさまざまなアルバイトを経験しました。「そのおかげで人生の先輩方との出会いも多く、井の中の蛙にならずに済んだ」と当時を振り返る吉田さん。先生や友人にも恵まれ、楽しい学生生活を過ごしながらも早く社会に出て働きたいとの思いが強かったといいます。

いよいよ卒業という段になって、吉田さ

んは“これからはコンピューターの時代”と情報産業の将来性に着目するようになっていました。県内ソフトウェア産業のトップ企業である現在の会社への入社が決まり、システムエンジニアの道を歩み出したのです。しかし、大学でコンピューターについて多少学んだとはいっても所詮は専門外、入社してからの勉強が大変でした。3カ月間の研修でコンピューター言語、OSといった基礎知識をマスターし、その後は先輩社員のアシスタントをしながら実践で学んでいきました。現在は、常務取締役東京支社長、経営陣の一人として会社を牽引しています。さらに、5年前からは本学キャリア教育担当の非常勤講師として年に2コマ講義を受け持っています。

今では私たちの生活のあらゆるシーンを

支えているIT。非常に奥深く幅広い分野だけに、理系文系を問わず能力を発揮できるフィールドだといいます。YCC情報システムには本学出身者が多いこともあり、さまざまなカタチで協力関係が生まれています。本学と芸工大が東日本大震災の被災地に向けて毎週運行しているボランティアバス「スマイルエンジン山形」の活動を支援するために受付サイトを開発し、無償提供しているのもその一つです。吉田さんが非常勤講師を務めていることも。そのキャリア教育の授業の中で吉田さんは、「人生にも旬がある。学生時代にしかできないことを悔いなくやって人間の魅力を高めた上で社会に出てほしい」と語りかけています。吉田さんの企業人としての真摯な生き方や後輩たちへの愛情が感じられる言葉です。

先見の成果